

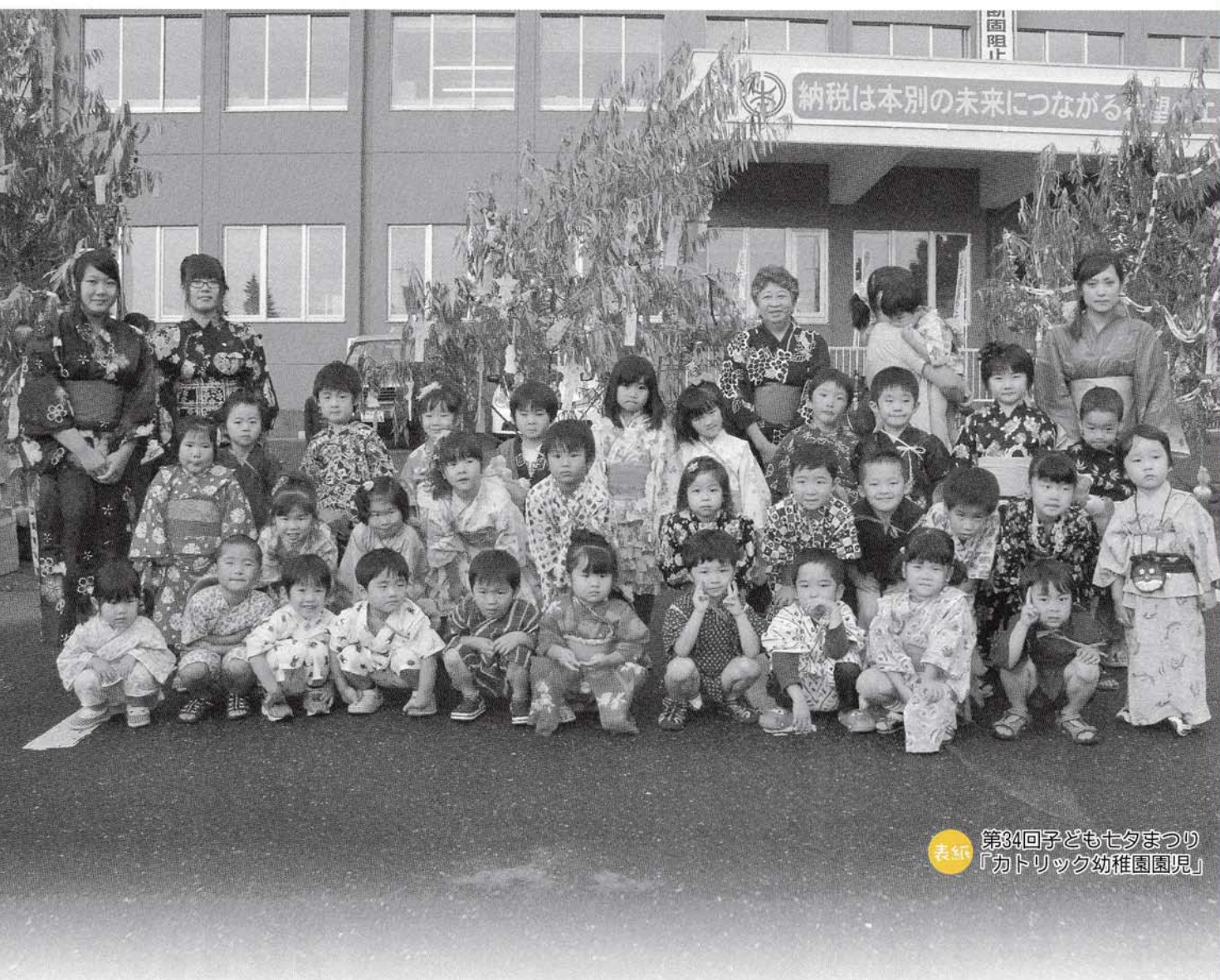
広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

Sep 2012.9
No.1007



表紙 第34回子ども七夕まつり
「カトリック幼稚園園児」

本別きらめきタウンフェスティバル

第16回 本別きらめきタウンフェスティバル2012

9月1日(土)・2日(日)
利別川河川敷地特設会場

本別最大のイベント「きらめきタウンフェスティバル」が開催されます。今年も盛りだくさんの催し物で来ていただいた方々をお迎えしますので、ぜひご来場ください。

本別きらめきタウンフェスティバル実行委員会

共催/本別町・本別町農業協同組合・本別町商工会・本別町観光協会・本別建設業協会・本別町馬事振興会・本別町自治会連合会・北海道新聞帯広支社・十勝毎日新聞社・十勝ふるさと市町村圏東北ブロック実行委員会
後援/北海道開発局帯広開発建設部・十勝観光連盟・株式会社明治本別工場・北海道糖業株式会社本別製糖所
支援/陸上自衛隊第5旅団・本別建設業協会二世会

ラリー北海道

十勝の5市町で国際ラリー大会「ラリー北海道」が開催されます。今年も、活だから美蘭別、上押帯までの町道と林道が複合する延長10.78kmのスペシャルステージ(SS)。「本別林道コース」が設定され、最大800人収容の観戦ステージも用意されます。ド迫力のラリー走行を間近でご覧ください。



本別林道コース大会日程

スペシャルステージ(SS)競技コース
9月16日(日)
開始予定時間
1回目(SS14) 午前9時28分
2回目(SS17) 午後2時36分

7プログラム

9/1
午前11時00分-うまいもの市
売店コーナー
友好都市小松島市物産市
馬とのふれあい広場
・ウエスタンホース乗馬体験
・ミルクイ号馬車乗車
・ポニー馬車乗車
午後1時00分-浅草「仲見世」の美演手焼き
せんべい限定無料配布
ふわふわランド
午後2時30分-HIPHOPダンス披露
開会式
午後3時00分-ゆるキャラ大集合
午後3時15分-自衛隊音楽隊演奏
午後4時35分-戸川よし乃ステージショー
午後5時30分-バンドLIVEステージ
午後6時30分-オンクルポンド
午後7時30分-東十勝花火大会
5000発の花火が本別の夜空を彩ります
午後9時00分-閉会

9/2

午前10時00分-うまいもの市
売店コーナー
友好都市小松島市物産市
ふわふわランド
熱気球体験試乗
(小学生以上1回500円)
キャラクターショー1回目
「特命戦隊ゴバスターズ」
郷土芸能
午後0時30分-義経太鼓/駒おどり/本別小唄
馬とのふれあい広場
午後1時00分-キャラクターショー2回目
「特命戦隊ゴバスターズ」
午後2時00分-キヤラクターショー2回目
「特命戦隊ゴバスターズ」
午後3時30分-ステージイベント
・イントロ当てクイズ
・超マンアック本別チヨリSHOW
STVラジオ公開録音
午後6時00分-歌謡ショー
八代亜紀(愛蔵)
奥華子
午後9時30分-閉会



©2012テレビ朝日 東映AG・東映

歌謡ショー
出演:八代亜紀(右)
奥華子(左)
司会:工藤じゅんき

問い合わせ 企画振興課商工観光・元気まち担当 ☎22-2141



本別ラリーパークへGO

9月15日(土) 正午~道の駅「ステラ★ほんべつ」

本別ラリーパークでは、レプリカ車の展示やグッズなどの販売をします。皆さんのお越しをお待ちしています。午後3時30分ころから、競技中のラリーカーによるファンサービスがあります!



前売り観戦チケット販売中!!
前売り観戦チケットを、町民向けに販売します。価格は通常2000円のところ1200円になっています。中学生以下は無料(保護者の同伴が必要)※帯広、音更、足寄、陸別コースのチケットも取り扱っています
▼チケット販売所
(本別公園義経の館内物産センター)
町観光協会事務局
☎22-3306
道の駅「ステラ★ほんべつ」
☎22-15819

第28年次 本別・南三陸交流研修会

2012・8/6-8/11

昨年の夏は震災により南三陸町での開催を見送り、本別町で開催したジュニアリーダー（JL）研修会。今年には両町中高生の強い希望によって南三陸町での開催が実現しました。町は震災で大きな被害を受けましたが、子供たちの笑顔とパワーは今まで以上!!また町内外からたくさんさんのOB・OGも協力参加してくれました。この研修会に参加した中高生のみなさんは、宮城県教育委員会よりジュニアリーダー初級資格の認定を受けます。

参加者15人
思いをこめて
感じたこと



志津川自然の家前で、歓迎の記念撮影

CN=キャンブネーム



前田 凌芽さん
(CN/ウカ)
本別高1年

研修生が劇的に変わってくれたことがうれしいです。



内田 芽依さん
(CN/めえ)
仙臺里中3年

研修で学んだ自分に足りない所を今後は出来るように頑張ります。



西尾 美姫さん
(CN/みき)
本別高3年

震災に負けずに笑顔で活動できるJLってやっぱりステキ!本別・南三陸は永遠不滅の仲!



布施 あゆみさん
(CN/あゆ)
本別高3年

初級生と一緒に多くのことを学ぶことができ、JLの絆の強さを実感しました。

多くの皆さんの協力によりつながった交流研修会

この事業は、子ども会リーダーやボランティア活動を学ぶ交流研修会。毎年夏休みに南三陸町で、春休みには本別町で開催していました。昨年は震災のために春の交流会は中止となってしまいましたが、多くの皆さんの協力により、まずは夏の本別町で開催でき、今夏の研修会につなげることができました。

参加した子どもたちは、わずか5泊6日の研修で自分の殻を破って大きく変わり、たくさんの感動と友情を手にして帰町したと思います。自分は昨年、災害派遣で南三陸町に行きました。久しぶりに見た町に震災直後の惨状が感じられず、とても不思議な感じがしました。がれきの山や残されたままの建物は震災があったことを語っていますが、伸びる雑草と穏やかな海から当時の大混乱は容易に思い起こせませんでした。「町がないので活気は見えないが、子どもたちの笑顔は健在です」そんな職員の言葉にこれからの交流もずっと続くこと心から願います。
(社会教育課社会教育担当)

共に考え、支え合う子供たちから学んだ6日間

今回、派遣生徒15人のうち13人が女子生徒ということで、女性職員の引率として参加しました。南三陸町へは、1月末に復興市支援のため行ってきましたが、いまだがれきの残る町並みに改めて震災の恐ろしさを感じました。そんな中でも、共に考え、支え合い、何かを作り出そうとする子供たちの力に、こちらのほうが学ぶところが多かったように思います。今後も両町の交流が続く、南三陸町が一日も早く復興することを心から願っています。

(保健福祉課児童福祉担当)

研修日程



8月6日(月)

12時30分 中央公民館出発



町長・教育長表敬訪問

8月7日(火)

10時00分 仙台港着

11時30分 南三陸町役場着

13時00分 町内視察研修



ジュニアリーダーの活動拠点だった志津川公民館



南三陸町職員41人が犠牲になった防災庁舎前で、冥福を祈るJL

17時00分 民宿着

8月8日(水) <JL初級研修1日目>



海での活動はいかだ作り・レースだけ復活。夜は学習会

8月9日(木) <JL初級研修2日目>



海岸で集めた貝殻を使って焼き板クラフトに挑戦



夜は灯火を囲んでのキャンドルサービス。そして、復興への願いと2つの町の絆を表した「ともに」の言葉に大粒の涙

8月10日(金) <JL初級研修3日目>



最後のレクリエーションダンス



涙の別れ

11時00分 志津川自然の家出発
松島町・仙台市内視察

22時00分 八戸港発

8月11日(土)

6時00分 苫小牧港着

11時00分 本別町着

平成24年度本別町中学生・高校生 国際交流研修派遣事業

第16次オーストラリア・ミッチェル訪問団結団式



平成24年度本別町中学生・高校生国際交流研修派遣事業
第16次オーストラリア・ミッチェル訪問団結団式

訪問団が決意

隔年で実施され、2年前と同じく中学生のみの団員構成で研修に臨む本別町中学生・高校生国際交流研修派遣事業「第16次オーストラリア・ミッチェル訪問団（山下博志団長、14人）」結団式が7月26日、町体育館で開催されました。水谷令子教育委員長は「心の扉を開き、目標を持って臨んでほしい。事前研修でチーム力を高め、頑張ってきてください」とあいさつ。続いて、団員一人ひとりが「英会話を学んできた」「スポーツを通して交流したい」「生け花を広げたい」などと抱負を語り、引率指導員の勇足中学校坂下理沙教諭は「二人ひとりが目標をしっかりと持って、積極的な行動をしてほしい。言葉や文化が違っても、気持ちや心もつながり育てて出発してください」と述べました。山下団長からは「団員を見守りながら、有意義な研修になるよう元気に行ってください」と決意表明があり、最後に高橋正夫町長と本別中学校山口弘康校長から激励の言葉が送られました。今後訪問団は、11月13日から22日までの10日間の研修に向け、8回の事前研修を重ねて出発に備えます。

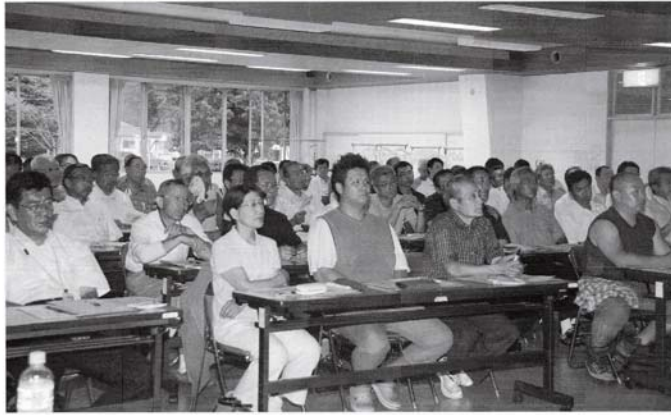


抱負を語る団員

団員名簿

- 団長 山下博志（教育委員）
指導員 坂下理沙（勇足中教諭）
団員 木村祐也（本別中3年）
西村虎大佑（本別中3年）
山下湧己（本別中3年）
川岸優太郎（勇足中3年）
上方志歩（勇足中3年）
内田芽依（仙美里中3年）
小川果蓮（本別中2年）
志戸田行訓（勇足中2年）
鉦取勇吾（本別中1年）
田中緒人（本別中1年）
塚林光（本別中1年）
宮本優姫（本別中1年）

地域防災 研修会



十勝の気象や電力、ダム の現状から、防災に対する知識を 深めるための地域防災研修会が7月26日、町体育館で開催され、帯広測候所山中智予報官が「十勝地方の気象について、北海道電力足寄営業所林博樹所長が「今夏の電力需給状況と節電について」、電源開発上土視電力所矢田崇恭所長代 演しました。

山中智予報官は、気象庁から警報、注意報が発令された場合の対応や、十勝は南や東からの雨風の影響を受けると大雨になりやすいことを解説したほか、竜巻災害も「どこで発生してもおかしくない」と述べ注意を促しました。
林所長からは、北電が実施している電力確保の取り組みや、計画停電の仕組みについての説明があり、想定外の停電に備えるとともに節電への協力を呼び掛け、最後に、矢田所長代理が、ダムの放流を知らせる方法やダムの耐震設計についての安全性を強調しました。参加した約90人は、いっしょで起きるかわからない災害に備え、情報の大切さと日ごろからの心構えについて学びました。その他、会場には災害時における非常持ち出し品等が展示され、多くの参加者が興味深く見入っていました。



最新の非常持ち出し品等の説明に耳を傾ける参加者

本別町交通安全推進委員会 創立50周年記念事業

本別町交通安全町民の集い



交通事故防止への思い、新たに

本別町交通安全推進委員会（会長＝高橋正夫町長）創立50周年記念事業「本別町交通安全町民の集い」が8月3日、役場前駐車場で開催されました。

長年にわたり地域の交通事故防止に貢献した4団体に、高橋会長が感謝状を手渡した後、「皆さんの交通安全に対する取り組みが町民に広がり、安心安全のまちづくりにつながっていきます」とあいさつ。続いて、方川一郎町議会議長と野村泰則本別警察署長が祝辞を述べました。交通安全宣言では、荒木又造老人クラブ連合会会長が、「私たち一人ひとりが健康な毎日を過ごすためにも、交通安全に努めます」、小林優香本別中央小学校児童会会長は「命の尊さ交通事故の重大さを認識し、思いやりの心をもって交通ルールを守ります」と力強く宣言。参加した約250人は、交通事故防止への思いを新たにしました。

引き続き会場では道警音楽隊の演奏と、カラーガード隊によるカラフルな旗を使った華やかな演技が披露され、来場者を魅了しました。



感謝状贈呈式

感謝状を受け取った4団体
本別ライオンズクラブ（藤田尚幸会長）
本別町商工会女性部（小川睦子部長）
北海道警友会本別支部（木田弘支部長）
本別建友会（三木哲会長）



道警音楽隊とカラーガード隊

第27回 樽生

ビア―彩



ビールで喉を潤す

本別町商工会青年部（佐藤隆史部長）主催による第27回樽生ビア―彩が7月28日、役場前駐車場で盛大に開催されました。

気温30度を超える猛暑となったこの日は、乾ききった喉をビールで潤そうと大勢の来場者が会場を埋め尽くしました。場内では、ビールや今年初登場したチューハイが飛ぶように売れ、食べ物を提供するテント前にも行列が出来ていました。

特設ステージでは、ヒップ・ホップダンスやアフリカ太鼓の披露、豪華景品が当たる抽選会など、多彩なイベントが繰り広げられ会場を盛り上げました。今年も、ごみ減量化のため、ビール・チューハイの2杯目からは、最初に使ったコップを使用する、エコな取り組みが実施されました。



第7回 本別ひまわり

3千坪迷路



大輪の花で来場者を歓迎

本別の夏のイベントとして定着した本別ひまわり愛好会（背戸田利光代表）主催による第7回本別ひまわり3千坪迷路が8月10日から16日の7日間、美里別東中のひまわり牧場で開かれ、太陽の日差しをいっぱい浴びて大輪の花を咲かせたひまわりが、来場者を迎えました。

ひまわり畑の中に作られた迷路の延長は1.5km。迷路の中は、徒歩でゴールを目指す人や、トラクター幌馬車に乗ってのんびり楽しむ人でにぎわいました。

このほか、イベント広場では、ゆでトウモロコシやかき氷などを提供する売店が立ち並び、民謡ショーや子ども対象のじゃんけん大会などで盛り上がったほか、ミニ動物園では、多くの人が、うさぎや豚などの小動物と触れ合いました。期間中、会場には町内外から昨年よりも4,300人多い約15,000人が来場し、本別の夏を満喫しました。



迷路に挑戦



じゃんけん大会

復興を願って

会場に設置された東日本大震災支援の募金箱に集まったお金と迷路の収益金の一部を合わせた5万5,000円が8月17日、宮城県南三陸町への義援金として、復興に向けてのメッセージと迷路の写真を添えて町に届けられました。



子ども七夕まつり



願いごとが 叶いますように

34回目の子ども七夕まつり（子ども七夕まつり実行委員会主催）が8月5日、役場前駐車場で開催されました。

会場内の柳の木には、子供たちが「願い事がかないますように」と思い込めた短冊などが飾られ、バザーコーナーや遊びのコーナーでは、食事したりおもちゃくじなどのゲームを楽しむ家族連れ、友達同士でにぎわいを見せていました。

子ども盆踊りでは、涼しげな浴衣を着た町内の保育所や幼稚園児、小学生など約200人が、やぐらの周りで大きな輪を作り、かわいらしい踊りを披露。迫力ある義経太鼓も演奏され、最後は花火が夜空を彩り、子供たちは夏の夜の楽しいひとときを過ごしました。



防犯ポスター 表彰式

平成24年度の「防犯ポスター」表彰式が8月5日、子ども七夕まつり開会式で行われました。受賞者は次の通り。（敬称略）

- 最優秀賞＝鈴木愛絵（本別中学校3年）
- 優秀賞
- 町長賞＝篠原梨世（勇足小学校6年）
- 本別警察署長賞＝
- 岡本行生（仙美里中学校1年）
- 本別町生活安全推進協議会長賞＝
- 福田翔子（勇足小学校5年）

写真左から篠原さん、岡本さん、鈴木さん（福田さんは都合により欠席）



ほんべつ夏まつり 仮装盆踊り大会



豪華な衣装で

ほんべつ夏まつり事業実行委員会（岡崎勉実行委員長）主催によるほんべつ夏まつり「盆踊り大会」が8月14日、役場前駐車場で開催され、多くの来場者が夏のひとときを楽しみました。

仮装盆踊り大会には、小学生以下の子ども部に、アニメキャラクターやおばけを装った30人が出場。一般の部には、豪華な衣装を身にまとった、町内外から8団体87人、個人17人がエントリーし、1位目指して華麗な踊りを披露しました。審査は、「仮装・踊り・協力」の3つの基準で行われ、北5丁目自治会が2年連続の栄冠に輝きました。

場内では、ふわふわドームや屋台も出店し盛り上がりを見せ、最後は、実行委員による餅まきで、祭りをしめくりました。上位の結果は次の通りです。

- 【団体の部】
- 第1位 キラキラ娘（北5丁目）
 - 第2位 がんばれ日本 勝利の女神（浦幌町）
 - 第3位 三番叟（仙美里）
- 【個人の部】
- 第1位 山西市子^{さん}（上押帯）
 - 第2位 真田 保^{さん}（帯広市）
 - 第3位 上地 敬子^{さん}（向陽町）



一般の部出場者



来場者でにぎわう場内



子ども盆踊り大会

国民年金 コーナール

年金制度が 改正されます！ その125

現在未払いの国民年金保険料を、さかのぼって納められるのは過去2年分までですが、国民年金法の一部改正に伴い、平成24年10月1日から平成27年9月30日までの間、過去10年分までさかのぼって国民年金保険料を納めることが可能になります。この改正に該当する国民年金未受給者で、保険料の未納期間がある人には、日本年金機構より通知文と納付の申し込み書が送付されますのでご確認ください。（通知は年金受給権が発生する65歳に近い該当者と古い未納期間がある人から順次郵送されます。）

また、3年以上（平成21年度以前）さかのぼって納付する場合は、次の通り当時の保険料に加算額が上乗せされますのでご注意ください。



国民年金保険料をさかのぼって納付する場合の月額保険料 (単位：円)

後納対象年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
当時の保険料額	13,300	13,300	13,300	13,580	13,860	14,100	14,410	14,660
加算額 (加算率)	1,640 (0.123)	1,420 (0.107)	1,210 (0.091)	980 (0.072)	750 (0.054)	540 (0.038)	350 (0.024)	180 (0.012)
後納保険料額 (H24年度)	14,940	14,720	14,510	14,560	14,610	14,640	14,760	14,840

【納付例】

国民年金保険料納付月数が280か月（平成14年度10か月分、平成19年度10か月分未納）で、年金受給権が発生する300か月まで20か月不足するため、未納となっている平成14年度10か月分と平成19年度10か月分の合計20か月分を、さかのぼって納付する場合の納付額。

平成14年度分 14,940円×10か月＝149,400円
 平成19年度分 14,640円×10か月＝146,400円
 合計 295,800円を納付することで年金を受け取ることができます。

※この改正は過去に納めていなかった年金保険料を納めることで、納付月数が足りずに年金受給権が無かった人、あるいは年金受給権はあるが、未納期間があるため支給額の少ないことが想定される人などを救済するためのものです
 ※過去の未納期間についての免除申請や、付加年金をさかのぼって掛けることは出来ません
 ※1年分や半年分を一括して支払う場合でも、現年度の年金保険料納付のような割引制度はありません
 ※年金受給額は、加入月数や免除月数などで変わります。ねんきんネットなどを活用してご確認ください

申し込みおよび問い合わせ

帯広年金事務所 ☎0155-22-8113
国民年金保険料専用ダイヤル ☎0570-011-050
住民課戸籍年金担当 ☎22-8128



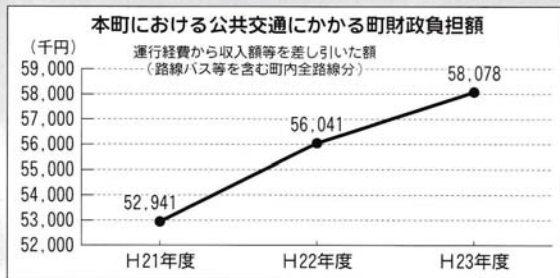
支えよう公共交通 Part 8

これまで7回にわたり、本町公共交通の現状等について触れてきました。今回は、それらから浮かび上がった本町の抱える課題を解決する方向を示し、地域公共交通の活性化および再生のために昨年3月に策定された、本別町地域公共交通連携計画について紹介します。

支え合い、連携し築く、持続可能な公共交通を目指して

本別町地域公共交通連携計画は、地域公共交通を活性化させ、再生していくための各施策を進める上で、基本となる方針や目標について定めたものです。グラフからも分かるように、年々町の財政負担が増加傾向にあります。今後、人口減少が進む中で、具体的な対策が実施されずに赤字額が増大し続ければ、公共交通の維持・存続が危うくなる事態に陥ることも懸念されます。公共交通は、特に自家用交通

手段が利用できない高齢者や通学する生徒などにとっては、日常生活を営む上で必要不可欠な移動手段であり、生活を支える基礎となるものです。そのため、町民と地域社会にとつて本町に必要な公共交通を、町民・行政・交通事業者がともに支え合い、連携して、築いていくことが重要となります。町では、同計画に基づき、将来にわたり持続可能な公共交通を目指し、改善に取り組んでいきます。



本別町地域公共交通連携計画

基本的な方針

本別の豊かで健やかな暮らしと活力のあるまちづくりを支え、人と環境にやさしい持続可能な公共交通を、ともに支えあい実現します。

目標

①すべての町民が安心していきいきと暮らせる公共交通の実現

町内に居住する全ての町民と本別町に通勤・通学などで来訪する地域住民が、日常生活を行う上で、安心していきいきと暮らせる移動環境を支えることができる公共交通を目指します。

評価指数と目標値

▼公共交通に投じる町財政負担額

平成25年度目標値

平成22年度と同等またはそれ以下

▼太陽の丘循環バスの利用者数

平成25年度目標値

平成22年度基準で5%増加

②ともに支えあい、活力のあるまちづくりを支える公共交通の実現

町民・行政・交通事業者が連携し、要望や知恵を出して話し合い、協働し、本町に必要な公共交通を継続的に維持・改善していく体制を構築すること、また、まちづくりの手段としての、公共交通の活用を目指します。

評価指数と目標値

▼市街地での買物時のバス利用率

平成25年度目標値

10%以上

※参考 平成22年度3・3%

▼商店街や町民団体等との連携事業

平成25年度目標値

商店街との連携による割り引き施策の実施や、町民と行政の連携体制の構築

③人と環境にやさしい低炭素社会の実現に資する公共交通の実現

公共交通の運行サービス向上・効率化とあわせて、環境にやさしいバス車両を導入し、公共交通は「人と環境にやさしい交通手段」であることを広く知ってもらい、過度な自動車利用を控えて、みんなから利用してもらえる公共交通を目指します。

評価指数と目標値

▼太陽の丘循環バス(コミュニティバス)はみんなが使えるバスということへの認知度

平成25年度目標値

町民の80%以上

※参考 平成22年度62・7%

▼公共交通によるCO₂排出量

平成25年度目標値

平成22年度基準で10%減少

お詫ごと訂正

広報ほんべつ8月号「支えよう公共交通」のページで、記事に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。正しくは次の通りです。
 「訂正箇所」10ページ上段6・7行目
 誤…平成18年から1日1往復
 正…平成21年4月から1日1往復



問い合わせ 企画振興課 企画・生涯学習担当 ☎ 22-8121

キャンプで自然と触れ合う 7 27・28

「遊びながら学ぶ」ことを目的に、東・栄町児童館と北地区交流センター合同キャンプが7月27日から28日の2日間、美里別地区公民館を主会場に開催されました。参加したのは、町内の小学1年生から中学生までの33人。初日はカレーライス作りや花火、2日目は川遊びをするなど、自然との触れ合いを楽しみました。



妊婦の安全確保のために 7 21

池北三町消防職員を対象とした、緊急時分娩支援方法および新生児対応学習会が7月21日、町体育館で開かれました。帯広厚生病院の分娩や新生児担当の助産師4人が講師となり、妊婦の安全確保のための支援や搬送方法などの講義を行ったほか、人形を使った緊急時の分娩サポートや出生直後の新生児蘇生法などについて指導。参加した30人は、知識や技術を習得しようと、真剣な眼差しで取り組んでいました。



石拾いに汗 7 28

本別建設業協会二世会（佐藤貢会長）が7月28日、南3丁目町有地（旧営林署苗畑跡地）の緑地で石拾いを実施しました。これは地域貢献活動の一環として取り組まれたもので、参加した11人は、草刈りの支障となる芝生に隠れた石を、丁寧に掘り起こし集める作業に汗を流しました。



ゲートボールで熱戦 7 25

町長杯争奪高齢者ゲートボール大会（本別町主催）が7月25日、ふれあい多目的アリーナで開催され、町内から9チーム42人が参加しました。ゲームは2ブロックによる予選リーグ戦を行った後、各ブロック1位同士、2位同士が順位を決定する熱戦を繰り広げました。成績は次の通り。

- 優勝=オリーブ
- 準優勝=ソウル
- 第3位=星流



第70回 学校祭
テーマ「～英明闊達～」

元気です! 本別高校



本年度入学した1年生75人は元気に一生懸命学校生活を送っています。まだまだ、幼い顔ですが、来年・再来年には本別高校を背負って立つ人材になってくれると確信しています。楽しみです!

立教大学学生による進路講話。進路実現に向けて、生徒たちは必死です。貴重なお話をたくさん聞けて、生徒たちはとても充実した表情でした。ご協力いただいた立教大学学生の皆さん、ありがとうございました。



校訓 創意実践

各学校の手作りページ

HELLO
本別高等学校



北海道本別高等学校

TEL : 0156-22-2052 / 2068
e-mail : honbetsu-z0@hokkaido-c.ed.jp

ドッジボールで 白熱したゲーム 8/8

第53回少年少女体育大会（町教育委員会主催）が8月8日、町体育館で開催されました。種目はドッチボールで、町内の小学校から4チーム35人が出場。対戦は4チームによるリーグ戦で行われ、子供たちは、父母らの声援を受けながら、懸命にボールを追いかける白熱したゲームを繰り広げました。成績は次の通り。



優 勝=ひかるっち（男足） 準優勝=たけじ君（男足） 第3位=本別中央小

アメニティ 夏まつり 8/8

毎年恒例のアメニティ本別（長谷川賢理事長）主催の夏祭りが8月8日、同施設駐車場で開催されました。今年も、施設スタッフによる趣向を凝らした余興で盛り上がったほか、参加者による盆踊り、花火などが行われ、入場者とその家族など約210人の参加者が、楽しい夏のひとときを過ごしました。



民謡・ 三味線発表会 8/18

第36回民謡・三味線発表会（町文化協会主催）が8月18日、中央公民館で開催され、7団体約40人が日ごろの練習の成果を披露しました。今年の発表会は、一部に踊りを織り交ぜる演出もされたほか、恒例の出演者全員による合同演奏など、趣向を凝らした舞台となり、会場に詰めかけた約150人の来場者から大きな拍手が送られました。



ラッピングバスで 本別町をPR 8/3

町のスクールバスの車体に、元気くんや子どもを育むための4つの風などがプリントされたデザインラッピングバスが8月3日、役場前でお披露目されました。このバスは、昨年度購入した町のスクールバスで、現在負簾線のスクールバスとして町内を運行しています。部活動の送迎などで町外を走る機会もあり、本別町のPRとしても活躍する予定です。



B・Bがやって来た 7/29

北海道日本ハムファイターズマスコットB・Bとの交流会が7月29日、道の駅「ステラ★ほんべつ」東側広場で開催され、同球団のファンなど約80人が詰め掛けました。参加者らは、サインをもらったり、記念写真を撮るなど、B・Bとの触れ合いを楽しみました。同交流会は、道内市町村を10年間かけて訪問するプロジェクト『212物語』撮影の一環として実施されたもので、147回目の訪問となりました。



日常生活に必要な 法律や制度を学ぶ 8/7

東町と向陽町、朝日町の65歳以上で構成するさくら会（南武男会長）が8月7日、法務局の出前講座を利用した例会を開催しました。例会では、人権擁護委員の田口昭子さん（柏木町）から、人権擁護委員の活動や役割について紹介があったほか、法務局職員からは、法務局の仕事内容についての説明がありました。参加した20人の会員は真剣な様子で、人権についてや成年後見制度、相続などの日常生活に必要な法律や制度を学び、有意義な例会となりました。



北海道警察 本部長表彰受賞 7/30

7月20日に北海道警察本部（札幌市）で開かれた警察協力功労者等表彰式で、交通部門個人において警察本部長表彰を受賞した泉野健さん（柏木町）が7月30日、役場を訪れ高橋正夫町長に受賞の報告をしました。42年間に及ぶ町交通安全指導員としての活動が認められたもので、泉野さんは「特に意識することなく続けてきた。周りの皆さんのおかげ」と謙虚に語り、高橋町長は「おめでとうございます。今後とも引き続き、交通安全に尽力いただきたい」と述べました。



みんなの健康

337

乳がんは乳房にある乳腺に発生する悪性腫瘍です。女性であれば誰もがなる可能性があるが、男性も60歳以上になると乳がんになる人もいます。

治療をすれば約90%近くが治ります。自己検診やマンモグラフィなどによる定期検診が大切なのです。

乳がん検診のすすめ



細胞が増え始めると、初期には全身症状がほとんどありません。乳房の変化に気づかず、そのまま放置しておくと、血管やリンパ管を通じて全身へと広がっていきま

す。残念ながら乳がんの予防方法はありませんが、早期に見

た、仰向けに寝てお風呂の

「の」の字を書きように動かします。また、仰向けに寝てお風呂の

治療をすれば約90%近くが治ります。自己検診やマンモグラフィなどによる定期検診が大切なのです。

未来に輝く子どもたち



本別町の未来を担うかわいいう星たちです。
お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれてすくすく元気に育つてね！

南2丁目
西田 哲心 (奈美乃ママ)



※写真は本人に解を得た上で撮影しています

100歳長寿おめでとごさいませ 町敬老祝い金の贈呈

高橋彌市さん(柏木町)が8月2日に、中西仙太郎さん(向陽町)が8月14日に100歳を迎えられ、高橋正夫町長から敬老祝い金7万円と商品券3万円分が贈呈されました。

彌市さんは、大正元年8月2日に釧路市で生まれ、昭和26年に故くらす子さんと結婚。男1人・女1人のお子さんを育て、孫3人、ひ孫6人に恵まれました。足寄営林署を退職後、昭和60年に本別町の長男健一さんと同居。これまで、大きな病気をすることもなく過ごし、この日も歌を披露するなど元気いっぱいでした。長生きの秘訣を尋ねると「克己心を忘れないこと」と力強く語り、現在の楽しみは、「アメニ



ティ本別での週2回のゲームやリハビリです」と元気に話してくれました。

仙太郎さんは、大正元年8月14日奈良県生まれで、子どものころ現在の足寄町上郷湾に家族とともに入植。便利屋を営みながら、故郷子さんと結婚後、男1人・女5人のお子さんを育て、孫11人、ひ孫11人にも恵まれました。100歳を迎えたことについて4女の高橋美佐子さんは、「これまで長生きして感激した。頑張ってきた、子どもを育ててくれたことに感謝しています」と話し、仙太郎さんは「皆さんありがとうございます」と大きな声でお礼を述べました。現在は町老人ホームで暮らしていますが、趣味の囲碁を



楽しみながら、元気に過ごしています。

ご寄付ありがとうございます 平成24年7月12日から8月10日

次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★本別町老人ホーム指定
トイレットペーパー 96ロール
…………… 本別民謡好友会 代表 島崎雪枝
すいか 10玉
…………… 本別町中央自治会連合会 会長 三枝金作

★本別町特別養護老人ホーム備品購入費指定
金50,000円 …………… 浦幌町 砂原吉郎

★本別町指定
電光掲示板4機・立て看板30枚・鉄くい70本
…………… 南2丁目 株式会社多東組 代表取締役 多東 優

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
★福祉でまちづくり推進事業
金10,000円…………… 北5丁目 キラキラ娘
代表 木南孝幸

銀河ホップアップ

足寄町

2012オンネット物語

神秘の湖オンネットへ過す、初秋のひととき。

□とき 9月23日(日)

午前9時30分～午後2時

□内容 オンネット一園設野営場ほか

☆自然ふれあい教室
オンネットの散策路で森に親しむ

陸別町

フリー北海道 「陸別ステージ」開催

今年もフリー北海道「陸別ステージ」が、陸別サーキットを会場に開催されます。今年の国内唯一となる「国際格闘」のレースを是非陸別でご観覧ください。

□とき 9月15日(土)

1回目 午前8時56分
2回目 午前11時47分

※時間は、先頭車両の通過時刻です。

教室を開催します(申し込みは9月16日)まで受け付け。まだ当日会場でも受け付けます。

① 雌阿寒岳登山コース
② オンネット湖岸遊歩道コース
③ 湯の瀧遊歩道コース

☆あしよる観光協会 出店コーナー
☆農産物の無料試食および特売コーナー
☆フォトコンテスト作品展示および受賞者表彰式

☆オンネットコンサート
☆申込先・詳細 あしよる観光協会
☎ 2516131

先頭車両の通過から約1時間30分の間競技車両が通行します

□内容 イベント広場陸別サーキット (陸別町宇遠別)

□料金 ステージ券 前売り2000円(3日2800円)

□問い合わせ
北海道フリー大会事務局
☎ 011186412003
011186412003
大会ホームページ
http://www.rally-hokkaido.com/
陸別フリーを成功させたい
(陸別町役場産業振興課内)
☎ 2712141 内線135

本のあそび暮らし 138

金子みすゞ展と手づくり絵本

みんなちがって、みんないい。

戸籍のまど

お誕生

7月後半から
8月前半の
届出分

- 渡辺夏七斗くん 隆一さん 7/18 北8丁目
- 山本紗由ちゃん 太晶さん 7/20 錦町
- 杉山 渉くん 昌純さん 7/21 勇足元町
- 今野葉月ちゃん 雅徳さん 8/1 負籠2

ご結婚

- (加藤 飛露実さん 清流町)
- (小川 宣子さん 清流町)
- (酒井 秀記さん 北3丁目)
- (田中美香さん 芽室町)

おくやみ

- 本寺 清忠さん 94歳 7/15 仙美里町
- 黒瀧 隆實さん 78歳 7/16 栄町
- 三村 ヤイさん 83歳 7/17 仙美里3
- 砂原 ソノさん 97歳 7/18 向陽町
- 大和田 聖幸さん 72歳 7/20 新町
- 三宅 千代乃さん 99歳 7/21 朝日町
- 新居 サツさん 82歳 7/23 勇足元町
- 加々見 英男さん 89歳 8/12 新生

わたしたちのまち

前月比
人口 **8,141人(+15)**
男 **4,002人(+4)**
女 **4,139人(+11)**
世帯数 **3,850戸(+6)**
〔7月末日住民基本台帳〕



図書館では7月30日と8月6日に、小学生を対象とした「夏休み金子みすゞ手づくり絵本講座」(夢風事業)を開催しました。

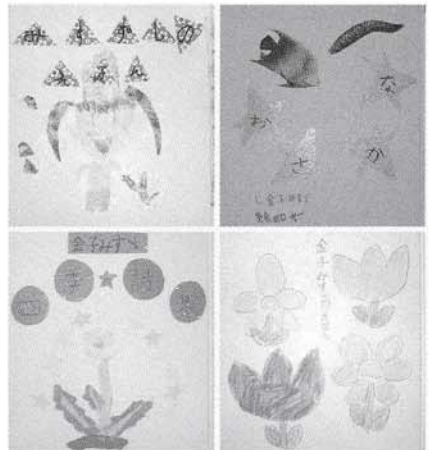
参加した子供たちは、金子みすゞさんのあたたかい詩に触れながら、図書館ボランティア「ぶっくる」の会員にアドバイスをもらい、一生懸命絵本づくりに取り組みました。

金子みすゞさんの詩にあわせて子供たちの感性が作り上げたすばらしい作品は9月10日から10月10日まで図書館で見ることができます。

また、図書館ボランティア「ぶっくる」が、みすゞさんの「大漁」の詩をモチーフにして創作した布の大作も展示しています。ご家族、知人お誘い合わせのぜひ図書館に足を運んで、こころのこだまを感じてみませんか。



真剣だよ。
お話聞いてうまく作れるかな。



できた!
こんな素敵な絵本ができあがりました。いろいろあって、みんないいね。



ぶっくる大作「大漁」。
会員が協力して制作しました。ぜひご覧ください。

お問い合わせ先
本別町図書館
(愛称:ぶっくる一丸)
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112